

## 第2節 研修後のアンケート調査（効果測定）の概要と結果

本節では、「就労継続支援B型は、『訓練』なのか、『就労』なのか？」の研修後のアンケートに関する目的と概要について記載する。

### (1) 目的

実施した研修の目的が受講者に伝わり、効果的で意義のある研修となっているかを明らかにするために、また、研修内容の課題について把握すること、受講者の就労に関する意識を明らかにすることを目的として、研修後のアンケート調査（効果測定）を行う。

### (2) 調査項目

下記の項目について調査を行った。

#### 1) 第1回研修前の事前アンケート調査

- ・ B型事業所の就労に関する意識（障がい者が働くこと）について

#### 2) 第1回研修後のアンケート調査

- ・ 研修の満足度について
- ・ B型事業所の就労に関する意識（障がい者が働くこと）について（研修後）
- ・ 第1回の研修前後の意識の変化について

#### 3) 第2回研修後のアンケート調査

- ・ 研修の満足度について
- ・ 第2回の研修前後の意識の変化について
- ・ 今後、受講してみたい研修内容について

#### 4) 第3回研修後のアンケート調査

- ・ 研修の満足度について
- ・ B型事業所の就労に関する意識（障がい者が働くこと）について（3回の研修後）
- ・ 3回の研修前後の意識の変化について
- ・ 障害者自立支援法による障害福祉サービス移行の選択について
- ・ B型事業所が「就労の場」として機能するには？

### (3) 調査方法

研修や受講者の就労に関する意識等を明らかにし、かつ、多くの方に回答いただくため、本調査においては、質問紙によるアンケート調査（無記名）を実施した（調査票については、資料を参照）。

#### (4) 調査対象と有効回答数

「就労継続支援B型は、『訓練』なのか、『就労』なのか？」の研修受講者全員に対し、出来る限り回答していただけるようお願いをした。

##### 【東京】

第1回（事前）：受講者 82 名、回答者 78 名（回答率 95.1%）

第1回（事後）：受講者 82 名、回答者 82 名（回答率 100%）

第2回（事後）：受講者 73 名、回答者 64 名（回答率 87.7%）

第3回（事後）：受講者 68 名、回答者 57 名（回答率 83.8%）

##### 【大阪】

第1回（事前）：受講者 86 名、回答者 81 名（回答率 94.2%）

第1回（事後）：受講者 86 名、回答者 81 名（回答率 94.2%）

第2回（事後）：受講者 111 名、回答者 105 名（回答率 94.6%）

第3回（事後）：受講者 114 名、回答者 101 名（回答率 88.6%）

(5)アンケート調査結果

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
東京1回目(事前)

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年2月1日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 82名

回答者数: 78名 回答率(%): 95.1%

〈設問1: B型事業所の障がい者就労についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください

訓練である	9
どちらかといえば訓練である	26
どちらかといえば(一般的に考えられる)労働である	30
(一般的に考えられる)労働である	6
その他	5
計	76

【その他考え(主なもの)】

- ・訓練でもあり、労働でもある
- ・労働ではあるが、就労に向けたステップアップの場合
- ・就労へ向けた訓練を伴った労働

〈設問2: B型事業所から支払われる工賃についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください

工賃が最低賃金を下回るのは仕方がない	17
工賃が最低賃金を下回るのはある程度仕方がない	50
工賃が最低賃金を下回るのはいけない	9
その他	1
計	77

【その他考え(主なもの)】

- ・下回らないよう努力が必要

〈設問3: B型事業所で障がい者が1日6時間、1か月に20日間の作業を行ったとします。また、最低賃金が1時間当たり650円とします。その場合の工賃としてあなたが妥当だと考えるものを以下の中から1つ選んで○をつけて

1,000円以上 3,000円未満	1
3,000円以上 5,000円未満	2
5,000円以上 10,000円未満	0
10,000円以上 30,000円未満	27
30,000円以上 50,000円未満	22
50,000円以上 最低賃金(78,000円)未満	15
最低賃金(78,000円)以上	3
その他	6
計	76

【その他考え(主なもの)】

- ・作業、活動内容による
- ・生産性の問題

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
東京1回目(事後)

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年2月1日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 82名

回答者数: 82名 回答率(%): 100.0%

◀設問1:本日の「就労継続支援従事者(管理者・職員)研修事業」の内容全般について、ご満足いただけました;

とても満足	19
満足	51
やや不満足	8
不満足	0
計	78

◀設問2:(1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数)

役立つ情報が得られた	49
日頃の生活や活動に役立った	18
スキルアップにつながった	16
他の参加者との交流・情報交換が図られた	3
抱えていた問題・不安の解消につながった	13
その他	9
計	108

【その他良かった点(主なもの)】

- ・問題や課題が明確になった
- ・今後の法人、施設の方向性を考えるきっかけができた

◀設問3:(1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか。(複数回答)

役立つ情報が得られなかった	1
日頃の生活や活動の参考にならなかった	1
スキルアップにつながらなかった	4
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	1
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	1
その他	2
計	10

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・基調講演の内容が思っていたのと違っていた

〈設問4: 今回の研修を受講した後のあなたのお考えをお聞かせ下さい。B型事業所の障がい者(利用者)の就労について、あなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください。〉

訓練である	7
どちらかと言えば訓練である	26
どちらかと言えば(一般的に考えられる)労働である	30
一般的に考えられる労働である	5
その他	8
計	76

【その他考え(主なもの)】

- ・訓練でもあり、労働でもある
- ・一人ひとりに合ったものでいいと思う

〈設問5: B型事業所で障がい者が1日6時間、1ヵ月に20日間の作業を行ったとします。また、最低賃金が1時間当たり650円とします。その場合の工賃としてあなたが妥当だと考えるものを以下の中から1つ選んで○をつけて

1,000円以上 3,000円未満	1
3,000円以上 5,000円未満	0
5,000円以上 10,000円未満	2
10,000円以上 30,000円未満	23
30,000円以上 50,000円未満	24
50,000円以上 最低賃金(78,000円)未満	16
最低賃金(78,000円)以上	7
その他	5
計	78

【その他考え(主なもの)】

- ・作業、能力による
- ・生産性の問題

〈設問6: 今回の研修を受講した後のあなたのお考えをお聞かせください。B型事業所から支払われる工賃についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください。〉

工賃が最低賃金を下回るのは仕方がない	13
工賃が最低賃金を下回るのはある程度仕方がない	46
工賃が最低賃金を下回るのはいけない	8
その他	2
計	69

【その他考え(主なもの)】

- ・下回ってはいけないが、B型利用の方全員が仕事ができる(何らかの形で仕事に関与できる)人ばかりではなく、ある程度できる人たちががんばった分を皆でわけている。

〈設問7-1: 今回の研修を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きします。研修の前と後では、「B型事業所の就労・工賃・支援」のことについて、あなたの考えや思いなどに変化がありましたか?〉

変化があった	20
変化はなかった	45
その他	2
計	67

【その他考え(主なもの)】

- ・まだ整理できていない。

《設問7-2:(6で「変化があった」を選んだ方)どのような変化があったかも教えてください。(主な

- ・B型事業所の本質的な問題点を理論的に教えてください、今後は現場で整理することがわかった。
- ・工賃向上について考え直したい。
- ・下請け中心の発想から「脱下請け」の発想を持つこと。障がい者だから丁寧・手作業が売りなんだ！どうしたら「楽」ができるのか、「楽」してもいいという発想の転換。
- ・最低賃金以下と考えていたが、その理由がないことに気がついた。

《設問8: 今回の研修を受講し、今後はどのような「気持ち」や「方法」で、工賃向上のための取り組みを行っていきたいと思いますか？(主なもの)》

- ・施設長、職員の資質向上につながるプログラムの提供。まずは個々の支援者が変わることに。
- ・施設だけの取り組みではなく、他機関や地域との係りで、工賃向上の可能性を見つけていきたい。
- ・大半が下請けとなっている現状をかえるのは大変困難ではあるが、少しずつでもオリジナリティを出せるようにすべき。
- ・「工賃向上」を上司からの指示として行っている部分があったが、自分自身が必要性を考えながらやるべきだ、と改めて取り組んでいけると思う。

《設問9: その他、ご意見ご感想(主なもの)

- ・下請け作業からの脱却について深く考えさせられました。
- ・福祉職の甘さを感じる時間にもなりましたし、本質的な問題が原因となっていることも分かりました。しかし、それだけでは改善できないので、中島先生から得たヒント(メンバーに評価してもらう項目つくるetc)を今後も続けたいですし、未だにやっていないものは行動にうつしていきたいです。
- ・他県の取り組みが聞いて良かったです。
- ・中島先生分かりやすい講義ありがとうございました。

《性別》

男性	43
女性	25
計	68

《年齢》

20代	9
30代	15
40代	18
50代	10
60代	7
70代	4
80代	1
計	64

《職業》

B型管理者	25
B型職員	24
行政職員	1
その他	13
計	63

【その他回答(主なもの)】

- ・授産事業振興センター職員
- ・障害者就労支援の起業予定者

《受講内容》

管理者向け研修	37
職員向け研修	29
計	66

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
東京2回目

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年2月22日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 73名

回答者数: 64名 回答率(%): 87.7%

〈設問1: 本日の「就労継続支援従事者(管理者・職員)研修事業」の内容全般について、ご満足いただけましたか?〉

とても満足	21
満足	41
やや不満足	1
不満足	1
計	64

〈設問2: (1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数)〉

役立つ情報が得られた	39
日頃の生活や活動に役立った	12
スキルアップにつながった	16
他の参加者との交流・情報交換が図られた	28
抱えていた問題・不安の解消につながった	11
その他	4
計	110

【その他良かった点(主なもの)】

- ・新しい知見の獲得、または無意識な部分の明確化。
- ・朝日先生の話聞く事ができた。

〈設問3: (1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか。(複数回答)〉

役立つ情報が得られなかった	2
日頃の生活や活動の参考にならなかった	1
スキルアップにつながらなかった	0
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	0
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	0
その他	1
計	4

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・他の研修との違いが感じられない。

〈設問4-1: 今回の研修を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きます。研修の前と後では、「B型事業所の就労・工賃・支援」のことについて、あなたの考えや思いなどに変化がありましたか?〉

変化があった	28
変化はなかった	27
その他	5
計	67

【その他考え(主なもの)】

- ・どちらでもない。
- ・変化があったか不明だが、工賃アップの気力が湧いた。

《設問4-2: (4で「変化があった」を選んだ方)どのような変化があったかも教えてください。(主な

- ・工賃アップは難しいという意識から、何か出来るのではないかと、という意識の変化があった。
- ・B型施設を立ち上げるにあたり、利用者の自立支援をバックアップできるよう、働かせる支援ではなく、働きたい支援でなければならない。我々スタッフの日々の努力が利用者の工賃アップ、生活向上につながりを持つようになる。
- ・支援しながらも利用者と同じ方向を向いて働くという初心に返れたように思います。
- ・工賃アップへの明確な方向性がわかった。

《設問5: 今回の研修を受講し、今後はどのような「気持ち」や「方法」で、工賃向上のための取り組みを行っていきたいと思いますか。(主なもの)》

- ・製品の価値を高めるような取組をしていきたい。
- ・「利用者が何を望むのか? 工賃アップは誰のために必要なのか?」を常に念頭に置き、取組(支援)を行いたい。
- ・マーケティング、ブランディングをうまく取り入れたい。
- ・業種に関係なくネットワークを持つことの重要性を感じました。

《設問6: 今後、あなたが受講してみたい研修は、どのような内容ですか? あてはまるもの全てに○をつけ、それらの中で最も受講してみたいもの1つに◎をつけてください。》

【あてはまるもの全て(複数回答)】

制度のこと	14
授産施設の歴史のこと	2
工賃アップのための具体的なノウハウ	20
工賃アップの先駆的な取り組みや事例	26
マーケティングやブランディング	17
営業のノウハウ	21
下請けから脱するための方法	13
作業マネジメントのこと	13
他者(上司・部下・同僚)に対して説明したり、説得したりする技法	9
外部コンサルタントのこと	6
利用者への支援(就労のこと)方法	11
B型事業者は「訓練」なのか、「就労」なのかというはっきりした回答	10
全国の自分と同じ立場にいる「管理者」や「支援者」の考え	14
自身のキャリアアップのこと	5
なぜB型事業所は工賃向上が必要とされるのかを考えるディスカッション	6
その他	1
計	188

【最も受講してみたいもの】

制度のこと	0
授産施設の歴史のこと	0
工賃アップのための具体的なノウハウ	6
工賃アップの先駆的な取り組みや事例	5
マーケティングやブランディング	2
営業のノウハウ	1
下請けから脱するための方法	3
作業マネジメントのこと	1
他者(上司・部下・同僚)に対して説明したり、説得したりする技法	2
外部コンサルタントのこと	0
利用者への支援(就労のこと)方法	2
B型事業者は「訓練」なのか、「就労」なのかというはっきりした回答	1
全国の自分と同じ立場にいる「管理者」や「支援者」の考え	1
自身のキャリアアップのこと	0
なぜB型事業所は工賃向上が必要とされるのかを考えるディスカッション	1
その他	0
計	25

【その他回答(主なもの)】

- ・B型事業所の成功及び失敗例



≪設問7:その他、ご意見ご感想(主なもの)≫

・制度がきちんと整備され、機能がさらに分化されたときにB型の在り方を巡る議論は意味を持つてくると思う。しかしそのときに、はたしてどれくらいの事業者が本来の目的を目指せるかは非常に疑問。  
 ・下請けの限界を感じています。そこから脱する具体的なノウハウを知りたいと思います。  
 ・名刺交換でたくさんの方とお話できて良かったです。  
 ・電通、海野さんの講演とてもよかった。福祉現場の人間がこういう話を聞く機会がないので。

≪性別≫

男性	37
女性	24
計	61

≪年齢≫

20代	6
30代	13
40代	19
50代	9
60代	6
70代	3
80代	1
計	57

≪職業≫

B型管理者	19
B型職員	27
行政職員	0
その他	13
計	59

【その他回答(主なもの)】

・セルフセンター職員  
 ・中間支援者

≪受講内容≫

管理者向け研修	30
職員向け研修	28
計	58

≪受講回数≫

1回目受講	49
1回目受講していない	11
計	60

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
東京3回目

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年3月5日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 68名

回答者数: 57名 回答率(%): 83.8%

〈設問1: 本日の「就労継続支援従事者(管理者・職員)研修事業」の内容全般について、ご満足いただけましたか

とても満足	19
満足	33
やや不満足	4
不満足	1
計	57

〈設問2: (1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数)

役立つ情報が得られた	26
日頃の生活や活動に役立った	22
スキルアップにつながった	20
他の参加者との交流・情報交換が図られた	5
抱えていた問題・不安の解消につながった	14
その他	4
計	91

【その他良かった点(主なもの)】

- ・社会福祉法人の原則を改めて学ぶことが出来た。
- ・思考の視野が広がった。

〈設問3: (1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか

役立つ情報が得られなかった	0
日頃の生活や活動の参考にならなかった	0
スキルアップにつながらなかった	0
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	0
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	2
その他	1
計	3

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・本に書いてあることを話していた。パネルディスカッションになっていなかった。

〈設問4: B型事業所の障がい者就労についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください

訓練である	2
どちらかといえば訓練である	6
どちらかといえば(一般的に考えられる)労働である	26
(一般的に考えられる)労働である	14
その他	6
計	54

【その他考え(主なもの)】

- ・障害の程度による。
- ・一般的な就労ではなく、支援が常に必要な労働。

≪設問5：B型事業所で障がい者が1日6時間、1か月に20日間の作業を行ったとします。また、最低賃金が1時間当たり650円とします。その場合の工賃としてあなたが妥当だと考えるものを以下の中から1つ選んで○をつけて

1,000円以上 3,000円未満	0
3,000円以上 5,000円未満	0
5,000円以上 10,000円未満	2
10,000円以上 30,000円未満	9
30,000円以上 50,000円未満	22
50,000円以上 最低賃金(78,000円)未満	10
最低賃金(78,000円)以上	10
その他	3
計	56

【その他考え(主なもの)】

・利益分

≪設問6：B型事業所から支払われる工賃についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてくた

工賃が最低賃金を下回るのは仕方がない	7
工賃が最低賃金を下回るのはある程度仕方がない	32
工賃が最低賃金を下回るのはいけない	12
その他	4
計	55

【その他考え(主なもの)】

・現状では仕方がないが、目標は高く持つべき。  
 ・工賃は最低賃金を上回らなくてはいけないと思う。しかし、時間がかかることだと思う。時間をかけて行っていきたい。

≪設問7-1：今回の研修(全3回)を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きします。研修の前と後では、「問4」～「問6」の回答内容に変化がありましたか? ≫

変化があった	31
変化はなかった	19
その他	3
計	53

【その他考え(主なもの)】

・今までの考えを再確認できた。  
 ・全部参加できなかったため

≪設問7-2：(4で「変化があった」を選んだ方)どのような変化があったかも教えてください。(主な

・B型が訓練か就労かと言う前に福祉だからという甘い考えがあった。法・制度はありますが、利用者のニーズを受けてそれをかなえるために職員自身が限界を決めてしまわず共に夢をもって取り組みたいと思いました。  
 ・工賃向上の言葉に惑わされていたようで、あるべき方向を見失っていたような気がする。今、自分のいる施設のやるべきことを改めて考え直していくきっかけになった。  
 ・訓練であるか就労であるか悩んでいる状態だったが、訓練か就労かではなく、就労であるべきだという意識に変わった。  
 ・障がいへの配慮をしていたつもりが、可能性をおさえてしまうフタになっていたと、私の事業所の支援を振り返って気づきました。また、私たち支援者の良かれと思っていた行動が、実は価値を下げているものであったと気付くことが出来ました。本当の意味でのノーマライゼーションとしてもB型は就労の1つであると考えが改まりました。

≪設問8-1：あなたが務める事業所(もしくは、あなたと関係のある事業所)は、「就労継続支援B型事業所」です

はい	47
いいえ	7
その他	1
計	55

【その他回答(主なもの)】

・多機能型

〈設問8-2: (8-1で「はい」を選択した方)あなたが務める事業所(もしくは、あなたと関係のある事業所)は、障害者自立支援法による障害福祉サービスの移行をする際に、なぜB型事業所を選択したのですか?〉

就労に力を入れて取り組んでいきたかったので	6
(B型事業所に移行は反対だったが)法人としての決定なので	3
利用者からの要望があったので	4
利用者の家族からの要望があったので	2
支援の現場からの要望があったので	1
地域からの要望があったので	1
行政からの要望があったので	7
制度上、仕方がなかったから	2
分からない	10
その他	8
計	44

【その他回答(主なもの)】

- ・大きな変化を避けこれまでの通所授産に最も近い事業種であったため。
- ・区の指定管理事務所であるため、選択の余地なく行政の指示。

〈設問8-3:あなたが務める事業所(もしくは、あなたと関係のある事業所)は、障害者自立支援法の福祉サービスにおいて、どのサービスが最もふさわしいと思いますか?〉

生活介護	0
就労継続支援(A型)	3
就労継続支援(B型)	38
就労移行支援	2
その他	4
計	47

【その他回答(主なもの)】

- ・多機能型

〈設問9: B型事業所が「就労の場」として機能するためにはどのようなことが必要だと思いますか?〉

「生活介護」と「就労継続支援」をしっかりと整理すること	7
職員配置基準の転換	0
管理職の意識改革	7
職員の意識改革	11
外部コンサルの導入	2
就労のノウハウの蓄積	3
適正な工賃を支払える仕事づくり	13
その他	3
計	46

【その他回答(主なもの)】

- ・職員の給与体制、公務員並みの身分保障

〈設問10: その他、ご意見ご感想(主なもの)〉

- ・B型であっても就労という意識が明確になった。そのため工賃向上にはさらに取り組んでいきたい。法や制度に左右されず目の前のご利用者が今何が必要なのか、工賃の向上と共に個別の対応にも力をいれていきたい。
- ・B型事業所の全ての利用者が全員就労でなければならないのか?生きがいを見つける場も必要だと思います。
- ・とても刺激をうけました。以前から私の事業所がどうあるべきか、現状のままで良いのか悩んでいました。しかし、良い考えが自分の中になく一番若手の私が先輩上司に対して呼びかける勇気がありませんでした。今回、この研修を受けさせて頂いたことで、研修の報告をする機会があります。この機会を利用して呼びかけることができますし、たくさんのヒントをいただきました。
- ・自分たちの思いをどう管理者に伝えていくか。同じ思いの職員何名かと力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

《性別》

男性	32
女性	23
計	55

《年齢》

20代	7
30代	15
40代	20
50代	5
60代	4
70代	2
80代	0
計	53

《職業》

B型管理者	19
B型職員	28
行政職員	0
その他	5
計	52

【その他回答(主なもの)】

・セルフセンター職員

《受講内容》

管理者向け研修	23
職員向け研修	29
計	52

《受講回数》

1回目受講	6
2回目受講	6
1・2回目とも受講	34
計	46

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
大阪1回目(事前)

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年2月8日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 86名

回答者数: 81名 回答率(%): 94.2%

≪設問1: B型事業所の障がい者就労についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください

訓練である	10
どちらかといえば訓練である	35
どちらかといえば(一般的に考えられる)労働である	25
(一般的に考えられる)労働である	4
その他	6
計	80

【その他考え(主なもの)】

- ・訓練でもあり、労働でもある
- ・居場所

≪設問2: B型事業所から支払われる工賃についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてくだ

工賃が最低賃金を下回るのは仕方がない	28
工賃が最低賃金を下回るのはある程度仕方がない	37
工賃が最低賃金を下回るのはいけない	12
その他	4
計	81

【その他考え(主なもの)】

- ・わからない

≪設問3: B型事業所で障がい者が1日の時間、1か月に20日間の作業を行ったとして、また、最低賃金が1時間当たり650円とします。その場合の工賃としてあなたが妥当だと考えるものを以下の中から1つ選んで○をつけてください。≫

1,000円以上 3,000円未満	1
3,000円以上 5,000円未満	1
5,000円以上 10,000円未満	2
10,000円以上 30,000円未満	34
30,000円以上 50,000円未満	16
50,000円以上 最低賃金(78,000円)未満	18
最低賃金(78,000円)以上	5
その他	4
計	81

【その他考え(主なもの)】

- ・能力や支援状況による

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
大阪1回目(事後)

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年2月8日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 86名

回答者数: 81名 回答率(%): 94.2%

〈設問1: 本日の「就労継続支援従事者(管理者・職員)研修事業」の内容全般について、ご満足いただけました?〉

とても満足	22
満足	51
やや不満足	7
不満足	1
計	81

〈設問2: (1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数回答)〉

役立つ情報が得られた	54
日頃の生活や活動に役立った	12
スキルアップにつながった	15
他の参加者との交流・情報交換が図られた	7
抱えていた問題・不安の解消につながった	17
その他	8
計	113

【その他良かった点(主なもの)】

- ・数字のアンケート結果が分かりやすく、当事業と比べることができた。
- ・考え方として、ヒントになることがたくさんあった。

〈設問3: (1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか。(複数回答)〉

役立つ情報が得られなかった	2
日頃の生活や活動の参考にならなかった	3
スキルアップにつながらなかった	2
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	0
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	4
その他	3
計	14

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・今回のチラシにインパクトがあり、もっと「B型って?」をテーマにリアリティな内容かと期待が大きすぎた。

〈設問4: 今回の研修を受講した後のあなたのお考えをお聞かせ下さい。B型事業所の障がい者(利用者)の就労について、あなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください。〉

訓練である	6
どちらかと言えば訓練である	27
どちらかと言えば(一般的に考えられる)労働である	29
一般的に考えられる労働である	11
その他	6
計	79

【その他考え(主なもの)】

- ・訓練でもあり、労働でもある
- ・居場所、生きがいの場

≪設問5: B型事業所で障がい者が1日6時間、1か月に20日間の作業を行ったとします。また、最低賃金が1時間当たり650円とします。その場合の工賃としてあなたが妥当だと考えるものを以下の中から1つ選んで○をつけて

1,000円以上 3,000円未満	0
3,000円以上 5,000円未満	1
5,000円以上 10,000円未満	2
10,000円以上 30,000円未満	30
30,000円以上 50,000円未満	17
50,000円以上 最低賃金(78,000円)未満	21
最低賃金(78,000円)以上	5
その他	4
計	80

【その他考え(主なもの)】

・作業、能力による

≪設問6: 今回の研修を受講した後のあなたのお考えをお聞かせください。B型事業所から支払われる工賃についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください。≫

工賃が最低賃金を下回るの仕方がない	14
工賃が最低賃金を下回るのはある程度仕方がない	41
工賃が最低賃金を下回るのはいけない	19
その他	5
計	79

【その他考え(主なもの)】

・払いたい払えない。

≪設問7-1: 今回の研修を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きます。研修の前と後では、「B型事業所の就労・工賃・支援」のことについて、あなたの考えや思いなどに変化がありましたか?≫

変化があった	31
変化はなかった	47
その他	1
計	79

【その他考え(主なもの)】

・まだ整理できない。

≪設問7-2: (6で「変化があった」を選んだ方)どのような変化があったかも教えてください。(主な

・工賃向上のための取り組みの方向性が分かった。組織運営の基礎を知り、施設の位置づけが理解できた。  
 ・職員に対する思いがより一層強くなりました。利用者の声をもっと吸い上げる思いが出てきました。  
 ・まだ整理できていないが、訓練ではなく就労の場であることが少しはっきりした。職場の意識改革の必要性が分かった。  
 ・質疑応答で色々な施設の話(細かな話)を聞いて、訓練という一時的なものではなく働くということ、生活の一部である、ということ強く感じました。

≪設問8: 今回の研修を受講し、今後はどのような「気持ち」や「方法」で、工賃向上のための取り組みを行っていきたいと思いますか? (主なもの)≫

・より一層職員のモチベーションを上げる手段を考え、利用者のニーズに応えられるよう組織運営を見直していきたい。  
 ・他の事業所の取り組み等、もっと知って、良いところを取り入れていける態勢をつくっていきたい。  
 ・今までの信念に従って、B型だからこそ、一人ひとりの可能性を引き出し、自立できるよう支援したいとより強く思いました。  
 ・少ない職員の中でも連携して、協力をし、取り組んでいけるようにしたいと思います。

≪設問9: その他、ご意見ご感想(主なもの)。

・自分自身のスキルアップになればと参加しましたが、今日の研修は一職員の立場ではなく、管理者が参加すべきと思った。施設に持ち帰り報告します。  
 ・利用者の方が失敗という経験も大切なのだということが印象的でした。  
 ・本日は、事前に目を通していたチラシの内容程の刺激は受けられず、また直面している問題への解決方法(ヒント)も得られず残念。唯一、中島先生の話後半一時間が現場に返せるものかと思った。



《性別》

男性	48
女性	31
計	79

《年齢》

20代	7
30代	28
40代	21
50代	13
60代	6
70代	1
80代	0
計	76

《職業》

B型管理者	27
B型職員	33
行政職員	5
その他	12
計	77

【その他回答(主なもの)】

- ・中間支援団体
- ・就労支援員

《受講内容》

管理者向け研修	36
職員向け研修	36
計	72

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
大阪2回目

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年2月13日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 111名

回答者数: 105名 回答率(%): 94.6%

《設問1: 本日の「就労継続支援従事者(管理者・職員)研修事業」の内容全般について、ご満足いただけましたか?

とても満足	24
満足	65
やや不満足	15
不満足	1
計	105

《設問2: (1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数)

役立つ情報が得られた	58
日頃の生活や活動に役立った	21
スキルアップにつながった	23
他の参加者との交流・情報交換が図られた	47
抱えていた問題・不安の解消につながった	6
その他	4
計	159

【その他良かった点(主なもの)】

- ・名刺交換して他の事業所の現状をいろいろ聞いた。
- ・朝日先生の話聞く事ができた。

《設問3: (1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか。(複数回答)

役立つ情報が得られなかった	0
日頃の生活や活動の参考にならなかった	6
スキルアップにつながらなかった	4
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	0
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	11
その他	3
計	24

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・内容が難しかった。

《設問4-1: 今回の研修を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きます。研修の前と後では、「B型事業所の就労・工賃・支援」のことについて、あなたの考えや思いなどに変化がありましたか?》

変化があった	48
変化はなかった	42
その他	5
計	67

《設問4-2: (4で「変化があった」を選んだ方)どのような変化があったかも教えてください。(主な

・もう一度見直して、良い販売ができるようにしていきたい。意義と目的をしっかり持っていきたい。  
 ・工賃アップに向けて、特に障害者優先調達推進法をうまく使っていきたい。そのために、行政に営業をかけていきたいと思った。今に甘んじてはいけない。福祉サービスと工賃アップは対峙しないと確信しました。  
 ・尊敬ある働き方について考える機会になった。商品売り込み方法も考えて行くヒントがあった。  
 ・マーケティングやブランドに対する考え方が分かった。取り入れられるものから取り入れようと思った。

《設問5: 今回の研修を受講し、今後はどのような「気持ち」や「方法」で、工賃向上のための取り組みを行っていききたいと思いませんか。(主なもの)》

・利用者の立場に立って物事を進めていきたい気持ちは変わらないが、少しでも工賃アップにつながるよう企業、行政も歩み寄って協力しながら取り組んでいきたい。  
 ・自分が置かれている状況を冷静に見極め、特徴を生かし、ネットワークを築いておもしろいと思えることを(利用者にとってもスタッフにとっても)をやっていききたいと思いました。ひとりよがりではなく、チーム一丸となれるよう周囲を巻き込んでいきたいと思いました。  
 ・外部の方(コンサル)に相談しながら、取り組みたい。  
 ・気持ちはあるが、具体的な取り組みが出てこない。障がい者としてひとくくりで考えると、講義の内容をふまえて、実現する気がするが今いる利用者の一人ひとりの顔を浮かべると、わからなくなってくる(保護者も含めて)。

《設問6: 今後、あなたが受講してみたい研修は、どのような内容ですか? あてはまるもの全てに○をつけ、それらの中で最も受講してみたいもの1つに◎をつけてください。》

【あてはまるもの全て(複数回答)】

制度のこと	23
授産施設の歴史のこと	4
工賃アップのための具体的なノウハウ	39
工賃アップの先駆的な取り組みや事例	37
マーケティングやブランディング	25
営業のノウハウ	27
下請けから脱するための方法	22
作業マネジメントのこと	28
他者(上司・部下・同僚)に対して説明したり、説得したりする技法	21
外部コンサルタントのこと	10
利用者への支援(就労のこと)方法	31
B型事業者は「訓練」なのか、「就労」なのかというはっきりした回答	20
全国の自分と同じ立場にいる「管理者」や「支援者」の考え	36
自身のキャリアアップのこと	14
なぜB型事業所は工賃向上が必要とされるのかを考えるディスカッション	14
その他	3
計	354

【最も受講してみたいもの】

制度のこと	1
授産施設の歴史のこと	0
工賃アップのための具体的なノウハウ	8
工賃アップの先駆的な取り組みや事例	6
マーケティングやブランディング	4
営業のノウハウ	2
下請けから脱するための方法	3
作業マネジメントのこと	1
他者(上司・部下・同僚)に対して説明したり、説得したりする技法	3
外部コンサルタントのこと	3
利用者への支援(就労のこと)方法	6
B型事業者は「訓練」なのか、「就労」なのかというはっきりした回答	2
全国の自分と同じ立場にいる「管理者」や「支援者」の考え	3
自身のキャリアアップのこと	0
なぜB型事業所は工賃向上が必要とされるのかを考えるディスカッション	5
その他	0
計	47

【その他回答(主なもの)】

・福祉の言葉について

《設問7:その他、ご意見ご感想(主なもの)》

・難しい内容をわかりやすく解説をしていただいとでも勉強になりました。また、商品展開、構成に関しても勉強になり、今後参考にしたいと思います。  
 ・もう少し、訓練なのか就労なのかの部分について、ふれていただき良かった。  
 ・障害を持った人の数だけ、いろいろなサービスが必要だと思うが、就労だけに目がいくと、何か違う様な気がする。しかし、B型ということで、甘んじてはならず、そこを(事業所)利用している人の力を出せる事業所を目指しています。  
 ・就Bの利用者で働きたいという思いを持つ人がどれだけいるのか、知りたいと思いました。

《性別》

男性	56
女性	46
計	102

《年齢》

20代	15
30代	33
40代	29
50代	10
60代	7
70代	1
80代	1
計	96

《職業》

B型管理者	39
B型職員	43
行政職員	3
その他	16
計	101

【その他回答(主なもの)】

・就労支援事業所  
 ・中間支援団体

《受講内容》

管理者向け研修	50
職員向け研修	47
計	97

《受講回数》

1回目受講	63
1回目受講していない	38
計	101

『就労継続支援B型は、「訓練」なのか、「就労」なのか?』研修に関するアンケート集計表  
大阪3回目

団体名:	特定非営利活動法人コミュニティワークス
助成事業名:	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
実施日:	平成25年2月27日
助成事業の形態:	①研修会・講習会・養成講座等の開催

利用者数: 114名

回答者数: 101名 回答率(%): 88.6%

≪設問1: 本日の「就労継続支援従事者(管理者・職員)研修事業」の内容全般について、ご満足いただけましたか

とても満足	26
満足	68
やや不満足	15
不満足	1
計	110

≪設問2: (1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数)

役立つ情報が得られた	63
日頃の生活や活動に役立った	29
スキルアップにつながった	25
他の参加者との交流・情報交換が図られた	24
抱えていた問題・不安の解消につながった	29
その他	6
計	176

【その他良かった点(主なもの)】

- ・視点の整理ができた。
- ・新しく考える事も出来たし、改めて仕事に向き合える時間がもてた。

≪設問3: (1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方)どのような点が良くなかったですか。

役立つ情報が得られなかった	1
日頃の生活や活動の参考にならなかった	1
スキルアップにつながらなかった	1
他の参加者との交流・情報交換ができなかった	0
抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	2
その他	1
計	6

【その他良くなかった点(主なもの)】

- ・自分が考える形が間違いではないことが確認できたので。

≪設問4: B型事業所の障がい者就労についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください

訓練である	2
どちらかといえば訓練である	16
どちらかといえば(一般的に考えられる)労働である	50
(一般的に考えられる)労働である	12
その他	13
計	93

【その他考え(主なもの)】

- ・利用者がどのように考えるか、利用者判断。
- ・どちらでもある。

≪設問5: B型事業所で障がい者が1日6時間、1ヵ月に20日間の作業を行ったとします。また、最低賃金が1時間当たり650円とします。その場合の工賃としてあなたが妥当だと考えるものを以下の中から1つ選んで○をつけて

1,000円以上 3,000円未満	1
3,000円以上 5,000円未満	1
5,000円以上 10,000円未満	6
10,000円以上 30,000円未満	17
30,000円以上 50,000円未満	37
50,000円以上 最低賃金(78,000円)未満	9
最低賃金(78,000円)以上	9
その他	8
計	88

【その他考え(主なもの)】

・利用者の状況、売り上げにもよる。

≪設問6: B型事業所から支払われる工賃についてあなたのお考えに近いもの1つに○をつけてくだ

工賃が最低賃金を下回るのは仕方がない	14
工賃が最低賃金を下回るのはある程度仕方がない	49
工賃が最低賃金を下回るのはいけない	17
その他	8
計	88

【その他考え(主なもの)】

・払いたいけど払えない。  
・作業内容により差があるのは一般に照らしても仕方がないが、最賃保障は意識しておくべき。

≪設問7-1: 今回の研修(全3回)を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きます。研修の前と後では、「問4」～「問6」の回答内容に変化がありましたか? ≫

変化があった	57
変化はなかった	23
その他	6
計	86

【その他考え(主なもの)】

・今までの考えを再確認できた。

≪設問7-2: (4で「変化があった」を選んだ方)どのような変化があったかも教えてください。(主な)

・企業への就労も一つだが、施設での工賃アップも同時に取り組んでいく考え方が大事。  
・利用者のニーズがベース、制度に引っ張られない。  
・自分や施設が利用者に対して価値観を押し付け過ぎてきて、利用者の可能性を閉じていると感じた。  
・B型での就労で完結してしまうと社会へ出るという意欲が薄れてしまう。やはり、税金を自ら払って生活するというのを大事にしたい。しかし、工賃を上げることで、最賃を目指すことにより、意欲がわくと思ったから。

≪設問8-1: あなたが務める事業所(もしくは、あなたと関係のある事業所)は、「就労継続支援B型事業所」です;

はい	76
いいえ	12
その他	4
計	92

【その他回答(主なもの)】

・多機能型複合施設  
・就労支援事業所

〈設問8-2: (8-1で「はい」を選択した方)あなたが務める事業所(もしくは、あなたと関係のある事業所)は、障害者自立支援法による障害福祉サービスの移行をする際に、なぜB型事業所を選択したのですか?〉

就労に力を入れて取り組んでいきかかったので	14
(B型事業所に移行は反対だったが)法人としての決定なので	3
利用者からの要望があったので	4
利用者の家族からの要望があったので	2
支援の現場からの要望があったので	1
地域からの要望があったので	2
行政からの要望があったので	1
制度上、仕方がなかったから	18
分からない	16
その他	13
計	74

【その他回答(主なもの)】

・障害者共同作業所の運営から移行したが、従来重度の利用者が去りたくないとの意向もあり、当所も定員を確保する必要もあった。  
 ・管理者の思い、経営上の理由。

〈設問8-3:あなたが務める事業所(もしくは、あなたと関係のある事業所)は、障害者自立支援法の福祉サービスにおいて、どのサービスが最もふさわしいと思いますか?〉

生活介護	8
就労継続支援(A型)	6
就労継続支援(B型)	40
就労移行支援	7
その他	8
計	69

【その他回答(主なもの)】

・多機能型

〈設問9: B型事業所が「就労の場」として機能するためにはどのようなことが必要だと思いますか?〉

「生活介護」と「就労継続支援」をしっかりと整理すること	5
職員配置基準の転換	3
管理職の意識改革	17
職員の意識改革	15
外部コンサルの導入	0
就労のノウハウの蓄積	4
適正な工賃を支払える仕事づくり	26
その他	3
計	73

【その他回答(主なもの)】

・柔軟な発想

〈設問10: その他、ご意見ご感想(主なもの)〉

・元々利用者によって「就労」か「訓練」が決まってくるのではないかと考えていたので、松上氏の話にある程度集約されているのではないかと考えました。その中で、やはり「一般就労」を目指している人が集まる事業所となる様に支援の方法を考えていきたいと思いました。  
 ・B型からの就労について悩んでいた時期だったので、「制度にとらわれない」という言葉がとても印象的でした。  
 ・管理者として就労継続としての役割が明確になり、自らの行動も再認識でき、積極的に職員への意識改革が出来る。  
 ・障がい者がつくったということブランド化するのではなく、事業所としてのブランド品を作るという意識が必要。

《性別》

男性	55
女性	41
計	96

《年齢》

20代	13
30代	30
40代	24
50代	12
60代	8
70代	1
80代	1
計	89

《職業》

B型管理者	34
B型職員	42
行政職員	5
その他	14
計	95

【その他回答(主なもの)】

・振興センター

《受講内容》

管理者向け研修	46
職員向け研修	45
計	91

《受講回数》

1回目受講	43
2回目受講	13
1・2回目とも受講	27
計	83